



Jichi 地域連携ニュース

- ・脳神経外科 診療科長就任のご挨拶 …………… 國井 尚人
- ・臨床腫瘍科 診療科長就任のご挨拶 …………… 大澤 英之
- ・「らくらく入退院支援システム わんコネ」の導入について
- ・脳卒中や心臓病についてお気軽にご相談ください
- ・「仕事に関すること」病院で相談できます
- ・治療と仕事の両立に関する相談会
- ・自治医科大学附属病院医師同門会について
- ・FAXによる患者紹介について

脳神経外科 診療科長就任のご挨拶

脳神経外科 診療科長・准教授 國井 尚人



令和 5 年 10 月より脳神経外科診療科長を拝命いたしました國井尚人と申します。私は宇都宮市の出身で、宇都宮高校を卒業後、東京大学に進学し平成 15 年に卒業しました。東京大学に長く勤務しておりましたが、この度縁あって、令和 5 年 6 月より自治医科大学脳神経外科に赴任いたしました。栃木県に住むのは高校卒業以来約 30 年ぶりですし、宇都宮市と下野市という違いはありますが、やはり地元というのは何か「しっくりくる」感じがあり、毎日さわやかに目覚めております。

私は、若い時分は西東京や静岡の脳卒中ハイボリュームセンターで研鑽を積み、たくさんの脳卒中の患者さんの内科的・外科的治療に携わって参りました。東京大学では当時准教授をされていた川合先生に師事し、てんかん診療・てんかん学について深く学びました。その後約 10 年に渡りてんかん外科を中心に幅広く脳神経外科手術に携わって参りました。

自治医大脳神経外科は、ハイレベルな血管内治療を含む脳血管障害の治療、良性・悪性を問わず豊富な知識と確かな手術手技で挑む脳腫瘍外科、洗練した手術技術と最先端の診断・治療を融合させて行うてんかん外科・機能外科、そして、全国屈指の経験と技術を有する小児脳神経外科、と幅広い得意分野を有しています。

大学だけ、脳外科だけ、で診療が完結する時代ではなくなっています。患者さんがよりスムーズに生活に戻れるよう、病診連携・病病連携を更に充実させていきたいと考えております。地域の医療関係の皆様方におかれましては引き続きご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。院内では多数の科・部門と日常的に連携しながら診療に取り組んでいます。令和 6 年 9 月には、院内病床再編により脳神経外科病棟と脳神経内科病棟が合併しました。これにより、入院病床の効率的な運用が可能になるとともに、脳神経センター内での内科・外科の連携が更に取りやすくなるのが期待されます。

自治医大脳神経外科では世代交代が進み、40 代前半の若手が診療の主力となりつつありますが、やる気の溢れる精鋭揃いです。自治医大脳神経外科で培われてきた伝統を大事にしつつ、働き方改革や医療 DX にもうまく適応し、皆で切磋琢磨して発展できるよう診療科長として尽力して参りたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

臨床腫瘍科 診療科長就任のご挨拶

臨床腫瘍科 診療科長・准教授 大澤 英之



令和 6 年 4 月 1 日より臨床腫瘍科 診療科長を拝命いたしました大澤英之と申します。私は、自治医大を 1998 年（平成 10 年）に 21 期生として卒業後、出身地である愛媛県内で地域医療に従事しました。義務年限の前半は離島の町立病院で勤務し、後半は山間部にある有床一人診療所で勤務しておりました。いずれの勤務地も、現在の日本を先取りしていたかのような典型的な高齢化自治体であり、一般診療や救急診療だけでなく、在宅医療や介護保険関連の多くの経験を積むことが出来ました。その後 2007 年（平成 19 年）から消化器一般外科（当時）の医局に入局し、消化器外科・乳腺外科での診療を経験する中でがん薬物療法に興味を持つようになり現在に至ります。

臨床腫瘍科はがん薬物療法を専門としています。以前は各診療科で薬物療法を行っていましたが、治療が多様化・複雑化していることから臓器横断的に治療を行う腫瘍内科が注目され、附属病院では臨床腫瘍科として 2006 年に設置されました。当科では主に消化器がん、頭頸部がん、希少がん、原発不明がんの患者さんの薬物療法を担当し、その他の臓器のがん薬物療法については臓器別に各診療科が担当しております。

医学の進歩とともにがん薬物療法は目覚ましい進歩を遂げています。殺細胞性抗がん剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤など様々なジャンルの薬物が存在し、その組み合わせも多数あります。日本の標準治療であるガイドラインを参考にしながら、患者さんの病状や体調、また、どんな生活を望まれているか、どこで最期を迎えたいか、などご本人やご家族の希望、医療スタッフの意見なども含めて全人的観点から検討し、薬物療法によって得られる利益と副作用のバランスを取りながら、患者さんとともに治療方針を決定しています。

そのように薬物療法を進めていく一方で、厳しい状況の患者さんも多いことから積極的な薬物療法を終了として症状緩和主体で療養することを提案することもあります。患者さんには出来るだけ住み慣れたご自宅で過ごしていただきたいと考えていますので、地域の先生方、関係スタッフの皆様にご相談させていただくことも数多くあります。正直難しい状況で心苦しく感じることはばかりですが、日頃よりお力添えいただいておりますことにこの場を借りて感謝申し上げます。

がん患者さんは今後も増加していくことが見込まれています。患者さん中心の医療を目指していくためには、連携医療機関の皆様との連携が益々重要になってくると考えております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

「らくらく入退院支援システム わんコネ」を導入しました。

患者サポートセンター

自治医科大学附属病院患者サポートセンターでは、「らくらく入退院支援システム わんコネ」を導入しました。いままで主に電話とFAX等で行っていた転院調整、診療情報のやり取りを当該システムで行うものです。FAXでは見えづらかった画像や紹介状などをPDFで添付して送信することが可能であり、誤送信のリスクも低減されます。また、セキュリティ対策も十分とられており、スムーズな連携業務が期待されます。

なお、システムを導入することにより、導入している全ての施設と送受信可能となり双方での情報交換が可能（チャット機能での連絡も可能）となります。また、無料で申し込みができることから、費用面のメリットが大きく、導入しやすいシステムです。（電話・FAXによる連絡方法が全く無くなるわけではありません。）

当システムの詳細については、下記、自治医科大学附属病院 患者サポートセンター 地域医療連携室までご連絡ください。

自治医科大学附属病院患者サポートセンター

地域医療連携室 石山 0285-58-7461

E-mail byoushin2@jichi.ac.jp

わんコネ導入前



- ・病状や希望にぴったりの転院先を探すのが難しい
- ・電話やFAXでのやりとりにかかる時間がかる
- ・担当者が不在など、連絡が繋がりにくい
- ・情報が点在していて管理が大変

わんコネ導入後



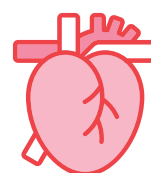
- ・一括で「受入依頼」打診やキャンセルができる
- ・必要に合わせて電話やFAXを使用しつつ、病院間のやりとりをチャットで対応できる
- ・PDFや写真の送付もチャットで対応可能



脳卒中や心臓病について お気軽にご相談ください



当院では、通院・入院中の患者（児）さんご家族の皆様が安心して生活できるよう、さまざまな問題などに応じる相談窓口を設けております。



センターでは、脳卒中や心臓病に関連する不安や悩みなどの相談をお受けしています。

また、他の病院で治療を受けている方からの相談もお受けしています。***紹介状不要、相談無料**

相談内容によっては、ご返答にお時間がかかる場合やお応えできない場合がございます。



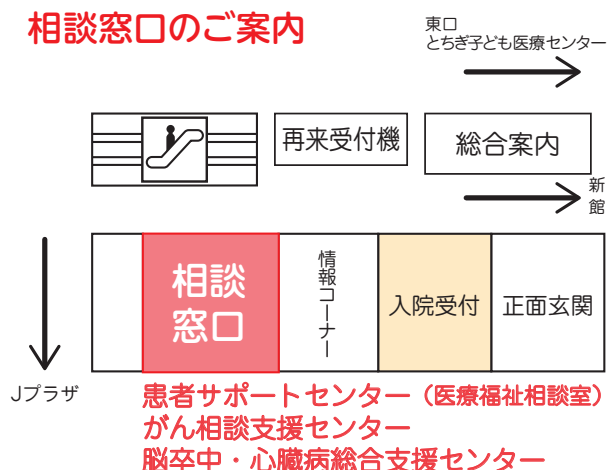
ご相談のお秘密は厳守します。

例えば

- 病気のリスクや予防について知りたい
- 食事のことについて知りたい
- どれくらい体を動かしてよいか知りたい
- 治療と仕事の両立について知りたい
- 医療費が心配
- 通院・入院中の生活や仕事に不安
- 福祉サービスや手続きについて知りたい

etc

相談窓口のご案内



「仕事に関すること」 病院で相談できます

以前と同じ
ように働けるか
不安

治療を受け
ながら仕事を
続けたい

どのような
支援制度が
あるか？

例えば

職場に病気を
どう伝えたら
いいか？

再就職したい

いつ、どのように
仕事に復帰したら
いいか？

秘密厳守

十分な時間をご用意させていただくため、
事前に相談希望日時をお知らせいただく
ことをお勧めします。



相談窓口のご案内

東口 とうぎ子ども医療センター



再来受付機

総合案内

新館

↓
Jプラザ

相談
窓口

情報
コーナ

入院受付

正面玄関

患者サポートセンター（医療福祉相談室）
がん相談支援センター
脳卒中・心臓病総合支援センター



治療と仕事の両立に関する相談会

定着

在職中・休職中の方

両立支援促進員
(栃木産業保健総合支援センター)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
10:00～13:00

就職

(再)求職中の方

就労ナビゲーター
(ハローワーク宇都宮)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
13:30～15:30

開催予定日 <毎月第2水曜日>

- 2024年
4月10日 5月8日 6月12日 7月10日 8月14日
9月11日 10月9日 11月13日 12月11日
- 2025年
1月8日 2月12日 3月12日

原則予約制

事前に相談希望日時を
お知らせください。

オンライン相談
できます!!



お問合せ：患者サポートセンター（医療福祉相談室）
がん相談支援センター
脳卒中・心臓病総合支援センター

開室時間：午前8時30分～午後5時15分（月～金 ※休診日除く）

場 所：本館1階 正面玄関西側 TEL：0285-58-7107（直通）



自治医科大学附属病院

自治医科大学附属病院医師同門会について

当病院では、OB医師を中心に「自治医科大学附属病院医師同門会」を組織し、総会・懇親会の開催や会報の発行等を行っております。

入会の条件は、「①自治医科大学附属病院で、医師・歯科医師として勤務経験があること、②同会の趣旨に賛同していただくこと」の2点のみです。会費は3年間で1万円です。

これを機会に是非入会をお勧めいたしますとともに、皆様方の周囲に当病院OB医師がおられるときは、当会の存在をご案内くださいますようお願いいたします。

入会に関する連絡・照会先は次のとおりです。

自治医科大学附属病院 医師同門会事務局（地域医療連携室内） 担当：松本、石山
TEL 0285-58-7461 / FAX 0285-44-5397 / e-mail byoushin3@jichi.ac.jp

FAXによる患者紹介について

当院では、FAXにより患者さんの事前予約を行っております。事前にカルテの作成等事務手続きを済ませておくため、受診当日の患者さんの事務手続きにおける待ち時間が短縮されます。是非ご利用いただきますようご案内いたします。

FAX 事前予約受付（休診日を除く）月曜日から金曜日まで 午前9時～午後3時

受付時間外にお送りいただいた申込書の対応は翌受付時間内での対応となります。

－ご注意－

- ◆ 医療機関以外（患者さん本人等）からの予約受付は行っておりません。
- ◆ 受診当日の予約、および時間予約は行っておりません。
- ◆ 予約を変更（又は取消）される場合は、事前に紹介元医療機関から地域医療連携室までご連絡ください。
- ◆ セカンドオピニオン・治験の予約は、FAXによる受付は行っておりません。

<FAX 予約のご利用方法>

1. 「FAX診療予約申込書」を作成し、当院あてにFAX送信してください。FAX診療予約申込書は、当院のホームページ（<http://www.jichi.ac.jp/hospital/>）よりダウンロードできます。「紹介状（診療情報提供書）」を併せてFAXしてください。
2. 当院では予約をお取りし、「FAXによる診療予約票」を返信します。
3. 患者さんに「紹介状（診療情報提供書）」と「FAXによる診療予約票」をお渡しください。
4. 来院日には、「紹介状（診療情報提供書）」とマイナンバーカード（又は健康保険証）を持参し、医事課・FAX紹介状提示窓口に提示するようご案内をしてください。

